



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：米国金融危機の影響

(10月4日付アラブニュース紙)

1. サブプライムローン危機以前に米国や湾岸諸国の銀行がリスクの高い担保付き債権購入のために資金を活用した結果、サウジ及び対岸の投資家は大きな損害を被っている。Al Riyadh Arabic daily は、米国の担保付き債権を購入した結果、少なくとも 35 人のサウジ人投資家が半倒産状態に陥っていると報道。
2. ただし、サウジ通貨庁は、サウジの商業銀行がどの程度損害を被っているかについては沈黙を守っている。だが、サウジ人エコノミストの Abdul Aziz Al-Owaishek 氏は「サウジ株式市場はその価値が 30% 減っていると指摘した。また、ある諮問評議会議員は、サウジの銀行は流動性の不足に苦しんでおり、サウジの株式市場は既に世界的な危機の影響を受けていると述べた。
3. エコノミスト達は、世界的な経済危機の結果、サウジの株式市場は更に下落すると予測している。彼等はイード休暇（でサウジ株式市場が休みであること）が株式仲介人の多大な損失を防いでいると述べている。